

その記憶は、泣きたくなるほど楽しかった。



昭和三十年代、映画と映画の幕間に
形態模写などをおこなう芸人がいた。
映画の斜陽とともに消えていったその男と家族の
数奇な運命がいま、紡ぎだされる――

佐々部 清 監督作品

カーテンコール

伊藤 歩 藤井 隆 鶴田 真由 奥貫 薫
津田 寛治 橋 龍吾 井上 堯之 藤村 志保 夏八木 勲

主題歌「いつでも夢を」(ビクターエンタテインメント)／音楽：藤原いくろう(オリジナルサウンドトラック：アール・アンド・シー)／プロデューサー：白井 正明／原案：秋田 光彦
監督・脚本：佐々部 清／撮影：坂江 正明／美術：若松 孝市／照明：守利 賢一／録音：瀬川 徹夫／助監督：山本 亮／キャスト：空閑 由美子

文部科学省選定作品(青年向、成人向、家庭向) 青少年映画審議会推選 第2回日本映画エンジェル大賞受賞作品

製作：「カーテンコール」製作委員会(シネムーブ、コムストック、日本テレビ放送網、衛星劇場、ジャパンホームビデオ、マックスエー、パップ、カルチュア・パブリッシャーズ、山口放送、コード)／製作プロダクション：シネムーブ
製作賛助：角川出版事業振興基金信託／協力：プロデューサーズアカデミア、文化庁(平成16年度文化芸術振興助成対象作品)／ノベライズ：角川文庫／メイキングDVD：パップ／配給：コムストック

2004年/日本映画/カラー/ヴィスタサイズ 1:1.85/ドルビー-SRD/上映時間:111分/©「カーテンコール」製作委員会

www.curtaincall-movie.jp

終わらない拍手 止まらない涙 静かな感動に心が震える



昭和四十年代の中頃まで、映画と映画の幕間に形態模写をやったり、ギターを弾いて歌を歌ったりして、お客を喜ばす芸人さんがいました。東京の出版社に勤める香織はふとした事件をきっかけに九州のタウン誌に異動を命ぜられる。そこに届いた一通のはがき。このはがきには映画館での懐かしい思い出が綴られていた。その取材のため古くからの映画館みなと劇場を訪れた香織は、その映画館で昭和の映画全盛の時代に幕間芸人として生きた男、安川修平とその家族について話を聞かされる。いつでも笑顔でお客を楽しませていた修平だが映画興行の斜陽とともに家族三人の生活は次第に困窮していった。

泣きたくなくなるほど楽しかったあの頃、お父さんがそばにいてくれたから。この家族の数奇な運命に心動かされ親子探しの旅に出た香織は、ついに娘美里と出会い親子のその後を知ることになる。「いい子でいればすぐに迎えに来る」と言葉を残し去っていった父。その言葉を信じ待ち続けた美里のもとに父が迎えにくることはなかった。「会いとうない」本当はたまらなく会いたいのにならでも父修平を許せない美里の心はかたくなだった。美里の話を書く香織は、疎遠になっている自分自身の父との関係を見つ

めなおすことになる。そして修平と美里を再会させるため香織は一人、海を渡るが...

『いつでも夢を』『下町の太陽』『網走番外地』...

昭和を彩った映画とともに懐かしいあの頃がよみがえります。

本編に登場するたくさんの名作映画。それらは映画が庶民の最大の娯楽であった時代に生きた人々の心に焼き付いている作品ばかりです。昭和三十年代から四十年代にかけての描写にはモノトーン映像が使われますが、スクリーンには日本映画の数々が鮮やかなカラーで浮かび上がり、懐かしの歌謡曲とともにあの頃がよみがえります。貧しくても逞しくみんな元気だった昭和のあの頃、そして現代の家族を物語るのには、『チルソクの夏』で日韓の微妙な人間関係を暖かく見つめ、『半落ち』で第28回日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞、そして『四日間の奇蹟』と、近年感動作を世におくり出し続けている佐々部清監督。小津安二郎、山田洋次に続く、親子の関係を丁寧な描き押し付けのない静かな感動を呼び起こす映画作家の最新作です。

『チルソクの夏』『四日間の奇蹟』そして『カーテンコール』。

美しい下関の情景をみずみずしく描く、佐々部清監督の下関三部作、ここに完結。

監督：佐々部 清

1958年1月8日生まれ、山口県下関市出身。明治大学文学部演劇科、日本映画学校、フリー監督を経て、02年『陽はまた昇る』（日刊スポーツ映画大賞石原裕次郎賞）で監督デビュー。以後、03年『チルソクの夏』、04年『半落ち』（日本アカデミー賞最優秀作品賞）、05年『四日間の奇蹟』と立て続けにヒット作、話題作を手がける。現在日本で最も注目される監督である。佐々部監督ホームページ www.sasabe.net



伊藤 歩 藤井 隆 鶴田 真由 奥貫 薫
津田 寛治 橋 龍吾 井上 堯之 藤村 志保 夏八木 勲

監督・脚本：佐々部 清 / プロデューサー：白井 正明 / 原案：秋田 光彦 / 撮影：坂江 正明
美術：若松 孝市 / 照明：守利 賢一 / 録音：瀬川 徹夫 / 助監督：山本 亮 / キャスティング：空閑 由美子

主題歌『いつでも夢を』（ビクターエンタテインメント）
音楽：藤原いくろう（オリジナルサウンドトラック：アール・アンド・シー）
ノベルイズ：角川文庫 / メイキングDVD：バップ（販売元）



● ● 映写機付バジ付き特別鑑賞券好評発売中!!
一般券 ¥1,300 / 小人・シニア ¥1,000
※一部劇場を除く
今秋、ロードショー!

銀座4丁目交差点・和光ウロ通り
シネスイッチ銀座
03(3561)0707 www.cineswitch.com

歌舞伎町シネシティ TOKYU MILANOビル
新宿シネマミラノ
03(3202)1189

京成上野駅池之端口・上野オークラ横
上野スタームービー
03(3831)1031